マリンライフ

［ Vol. 276］

江田島近海で獲れる水産物は何？

第２００回自然観察会「市場見学」（２ページ参照）で、市場の方に江田島からどのような水産物が出荷されているのか教えていただいたので紹介します。

出荷された生物は約１２０種

2023 年の 1 年間に江田島の漁業者が広島市中央卸売市場の卸売業者 1 社に出荷した水産物（商品）の数は１６２品目でした。この数字の中には、同じ種類でも別の商品として扱われているものがいくつかありました。例えばブリだと、大きさによってヤズ、ハマチ、ブリの３つに商品が分かれている場合や、活魚（生きている魚）と鮮魚（死んでいる魚）を別の商品として分けている場合などがありました。そこで、生物に注目して種類を整理したところ、１年間に約１２０種の生物が江田島から出荷されていることがわかりました。量が多いものから順に、マガキ、マダイ、ブリ、カタクチイワシ（シラス）、サワラ、サヨリ、スズキ、マダコ、クロダイ、アカエイでした。

逆に出荷量が少ないものは、ホンベラ、キュウセン、ミミイカなどがありました。キュウセンは、磯でもよく見かける魚で、瀬戸内海ではよく食べられています。

国がまとめた統計では、江田島市の海面漁業（養殖を除く海で行う漁業）の総漁獲量は広島県全体の約５割を占めるというデータがあります。江田島といえば牡蠣養殖が有名ですが、養殖以外の漁業も盛んで多様な魚介類が水揚げされていることがわかります。

※今回のデータは、２０２３年に江田島から入荷した水産物の資料（卸売業者１社）と２０１８年の漁業・養殖業生産統計（農林水産省）をもとにまとめています。

江田島からの出荷量上位３位

春	１位牡蠣、	２位 鯛 、	３位サヨリ
夏	１位 鯛 、	２位ハマチ、	３位シラス
秋	１位 鯛 、	２位サワラ、	３位牡蠣
冬	１位牡蠣、	２位 鯛 、	３位小イワシ

江田島から出荷されるものの中から、代表的なものを紹介します。

最も出荷量が多い水産物は、「牡蠣（マガキ）」です。冬がイメージの牡蠣ですが、春先まで出荷が続いていることが分かります。広島県は全国トップの牡蠣生産量を誇ります。その中で江田島市は呉市と並び県内トップクラスの生産量です。

魚類で最も出荷量が多いのは、「鯛（マダイ）」です。瀬戸内海は全国的に見てもマダイが多い海域であり、１年を通して江田島からは多くの量が出荷されています。江田島での漁獲量は、県内２位です。マダイは、春先に外海から産卵のために瀬戸内海へやってきて、夏・秋はそのまま瀬戸内海で過ごし、冬になると一部の個体を除いて水温があまり低下しない外海の深場へ移動し越冬します。

最後に、シラスと小イワシの「イワシ類」です。江田島は、イワシ類の漁獲量が県内トップです。シラスとは、カタクチイワシやマイワシなどのイワシ科の稚魚のことで、小イワシとは、シラスが成長したカタクチイワシのことです。

◆ 第200回自然観察会報告 ◆

市場見学「水産物の流通とプロのこだわりを学ぶ」

３月２８日（金）、広島市中央卸売市場で特別研修会を開催しました。朝３時半に到着した時には、市場はすでに多くの方が働いていました。最初に見学したのは、仲卸の店舗でした。魚介類の入った発砲スチロールが山のように積み重ねられており、広島に限らず全国からやってきた多くの水産物が店頭にならんでいました。市場は地元の物を全国に向けて送り出す場所であるとともに、全国から商品を集め、地元へ供給する流通拠点としての役割があります。

見学参加者の元気な掛け声と鐘で“せり”が始まり、せり人と買手との独特な掛け合いでテンポよく次々と魚の値段が決まっていました。せりの後は、「こだわり漁師」という広島県独自の取り組みを紹介してもらいました。「こだわり漁師」とは、最高に美味しい魚を獲るために情熱を注ぐ漁師のことで、その一人に認定されている江田島市能美町の内藤希誉志さんから、漁場・漁法・取扱いへのこだわりについて話を聞きました。

施設見学では、マグロを加工する様子や生け簀から出した魚をしめる様子など、実際の作業を見せていただきました。

また今回は食育の一環で、江田島産シラスを使った洋風シラス丼を試食しました。フレンチシェフの住田聖和さん指導のもと、自分たちでシラス丼に乗せる目玉焼きを作りました。目玉焼きと言っても普通に焼くのではなく、卵の殻を使い卵黄だけが半熟になるように焼くという、シェフのこだわりを感じる調理でした。自分で盛り付けたシラス丼は卵黄がソースのように絡み、美味しく仕上がりました。

見学を終えてバスに乗り込む頃には、あれだけ活気のあった市場は取引を終えて静まり返っていました。今回の見学では、水産物の流通と良いものを提供したいと思うプロのこだわりを感じることができました。

◆ イベント参加報告 ◆

第9回広島ジュニアサイエンスフェア「じゃすふぁ」に参加しました

３月２０日、広島市にある西区民文化センターで開催された通称「じゃすふぁ」という科学イベントに参加しました。研究発表のほか、科学実験や獣医師体験ブースなど、様々なコーナーがあり、当館からはカブトガニと水中の科学をテーマとした「ぽけっとミュージアム」を出展しました。生きているカブトガニを見てもらいながら体のつくりについて説明したり、１回の脱皮でどのくらい大きくなるのか、本物の脱皮殻を見比べてもらったりしました。また、水中の科学では、潜水で使う道具の展示や陸上と水中の違いについてのパネル解説、水中ドローンで撮影した江田島近海の様子を紹介しました。オリジナルグッズがもらえるクイズにも多くの方々に参加していただき、館の事業や江田島市の魅力を紹介することができました。

◆ 新規開講講座のお知らせ ◆

大人のための科学クラブ

～月に一度のサイエンスナイト～

この度、「大人のための科学クラブ　～月に一度のサイエンスナイト～」を始めることになりました。これまでさとうみ科学館では、マリン・アドベンチャーなどの里海学習や理科の授業・クラブ活動、自然観察会や出前博物館など、小中学生や親子を対象とした事業が多く、“こども向けの施設”というイメージが強くありました。そこで、様々な世代のみなさんにさとうみ科学館を知ってもらい利用していただくために、

大人限定（１８歳以上）！

のプログラムを開設することにしました。主な内容は、中学～高校レベルの理科（物理、化学、生物、地学）を扱いながら、生活の中にある身近な事象や社会問題・環境問題について科学的に考えるものです。実験や観察、ものづくりなども行う予定です。「学び」に年齢など関係ありません！18 歳以上の方はどなたでも OK です！毎月、最終金曜日の夜に開催しますので、仕事帰りにふらっと参加するなど気軽に学んで楽しみましょう！

実 施 日：令和７年４月～令和８年３月の最終金曜日
時　　間：午後７時 30～午後９時（内容によって前後します）
申し込み：右の QR コードより LINE オープンチャットにご参加いただくと申し込みや講座内容を確認できます。
電話やメールでも受け付けています。

◆ 第202回自然観察会 ◆

カニたちのダンスを見よう！

干潟では、巣穴から出てきたハクセンシオマネキやチゴガニたちがダンスを行う季節です。カニの種類によって、ダンスの仕方も違います。カニたちが、いっせいにハサミをふってダンスをしている姿は、とてもかわいらしいですよ！

日　　時：令和７年５月２４日（土）
１２：３０～１４：３０
（干潮時刻　１３:２４　＋５０ｃｍ）
集合時間：１２：３０
集合場所：さとうみ科学館
観察場所：大柿町深江島戸川河口干潟
申し込み：令和７年５月２２日（木）までに事務局へお申し込み下さい。
※観察場所付近の駐車スペースには限りがありますので、申し込み多数の場合は期日前に申し込みを締め切る場合があります。
持 ち 物：帽子、軍手、長靴、水筒（飲み物）、タオルなど

着任のお知らせ

地域おこし協力隊
「里海コーディネーター」
向井　綾香（むかい　あやか）

　この度、地域おこし協力隊としてさとうみ科学館に勤務することになりました、里海コーディネーターの向井綾香と申します。
　以前は東京で勤務し、全国の農家さん向けに研修のコーディネートを行っていました。その活動を通じて、各地域を訪問し、魅力や文化に触れる中で、父の故郷であり、幼少期から馴染み深い江田島市で地域活動をしたいという思いが強くなりました。
　これまでの経験を活かし、江田島ならではの「人づくりによる街づくり」を目指しながら、皆さんとの交流を通じて「さとうみ学習」の魅力を広めていきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします！

潮見表　5月の観察に適した日時　（干潮時刻と潮位）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
時分	5:52	6:39	7:36	8:57	10:33	11:50	12:44	0:48	1:37	2:17	2:52	3:24	3:56	4:27	5:00	
cm	119	142	161	171	164	145	120	113	107	103	102	103	108	113	121	
時分	17:59	18:44	19:38	20:51	22:22	23:45		13:25	13:59	14:30	14:59	15:28	15:57	16:28	17:00	
cm	5	33	66	96	114	118		96	74	56	41	31	25	24	28	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
時分	5:36	6:16	7:01	7:58	9:10	10:29	11:38	12:35	0:56	1:52	2:42	3:29	4:14	5:00	5:47	6:35
cm	130	140	150	157	156	142	116	83	101	98	99	105	115	125	135	142
時分	17:34	18:12	18:57	19:53	21:04	22:28	23:49		13:24	14:09	14:53	15:36	16:20	17:05	17:51	18:38
cm	35	47	63	80	96	105	105		50	21	-1	-12	-13	-3	15	39

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。
潮位３０cm未満（白抜きの文字）が調査に適しています。

令和７年　潮汐表（海上保安庁）から

事務局だより

●特別研修会「市場見学」を終えて
広島市中央卸売市場での特別研修会開催にあたり、多くの方々にご協力いただきました。広島市中央市場の吉川拓深さんと広島魚市場株式会社の吉井起明さんには、日程の調整や準備、当日の案内など多大な支援をいただきました。また、市場見学を紹介していただいた深江漁協の樋口元武さん、魚へのこだわりを教えていただいたマルキ水産の内藤希誉志さん（能美町）、シラス料理を提供していただいたキヨコラージュの住田聖和さん、その他市場関係者の皆さんに、この場を借りてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

●能美図書館こどもの日スペシャル
５月５日（月）、能美図書館に里海の生き物が大集合！タッチプールやクイズ大会などを行います。開催時間は１０：００～１２：００です。ぜひ、お越しください。

●休日開館日（５月）のお知らせ
５月も毎週土曜日を開館。開館時間は9:30－17:00（入館は１６：３０まで）です。詳しくは事務局まで。

江田島市教育委員会　教育部　大柿自然環境体験学習交流館
さとうみ科学館
Satoumi Science Museum（ＳＳＭ）
〒７３７－２２１４
広島県江田島市大柿町深江１０７３番地１
ＴＥＬ：（０８２３）５７－２６１３
ＦＡＸ：（０８２３）４０－３１００
メール：satoumimail@yahoo.co.jp
ＨＰ：『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館　　長：西原　直久
専 門 員：平山　良太
主　　任：鍬崎　賢三
運営指導員：下中　茂樹
運営指導員：峯　　哲士
支 援 員：木村　さつき
里海ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：向井　綾香

（友の会会員）
シニア　１８２名
ジュニア　１４１名

◆あとがき◆市場からいただいた江田島から出荷される水産物のリストには、生き物の名前を標準和名ではなく地方名で書かれているものが多くありました。例えば「ひょこたん」！観察会でも見かけるホンベラがこんな呼び名なんて全く想像もつきませんでした。（鍬崎）